



カリフォルニアアシカの処置の様子。おもちゃの擬似で削れた歯の根元が化膿したため、抜歯した

伊東獣医師に聞く

海獣の歯

Q 海獣の歯の特徴は？

A 人を含む動物は、生態によって独自の進化を遂げており、同じ歯であってもその形や構造が異なります。例えば、固い貝などを食べるラッコの歯のエナメル質は、人の歯の2.5倍頑丈であることが分かっています。また、カマイルカは乳歯が無く、はじめて永久歯が生えてきます。その他、上顎左側の切歯が反時計周りに伸び続け、角のようになるイッカクなど様々です。

Q 海獣に義歯治療を行うことはありますか？

A セイウチの牙にクラウンを入れた事例は国内でもありますが、試験的な取り組みだったようです。動物は治療中におとなしくすることが出来ないため、型を取ったり、装着したりする度に何度も麻酔をする必要があります。動物の体への負担を考慮するとあまりにリスクが高く、現実的な治療ではないというのが正直なところですが、



獣医師 伊東隆臣
株式会社海遊館飼育展示部海獣環境展示チーム副参事。1974年生まれ。1999年、岩手大学農学部獣医学科卒。同年、大阪ウォーターフロント開発株式会社(現株式会社海遊館)に入職。

飼育員が手やサインを出すと、水面から顔を覗かせ、大きく口を開くイルカたち。歯が見えやすいよう、姿勢を維持し続ける。飼育員は「協力してくれて有難う」と歯を与える。日常的に行われているイルカへの歯科健診の様子だ。

予防医学に重点

予防において特に力を入れるのがハズバンダリートレーニングだ。トレーニングに取り組むようになってから、イルカは月に1回、アザラシは3か月に1回、保定などによるストレスを与えることなく、血液検査を行っている。「以前はタイバー8人で追い込んでイルカの採血を行うこともありました。伊東さんはかつての苦勞を笑いながら話してくれた。

3人の獣医師

海遊館には、カマイルカ、カリフォルニアアシカなど4種類、29匹の海獣が飼育されている。海獣とは、海洋性の哺乳類をさし、水族館でも人気の生き物だ。株式会社海遊館では、万博公園内に「生きているミュージアム ニフレル」と併せて3人の獣医師と2人の動物看護師が勤務し、海獣をはじめとする生き物たちの治療に従事している。普段は、種類ごとに1人配置されている飼

置されている飼育員が動物たちの健康を管理し、何か異常があれば獣医師に相談する。いざ処置を行うとなると獣医師らが集合し、協力して治療にあたるという体制だ。

動物の歯科治療

動物は基本的に「舐め」はならない。それでも歯科疾患と無縁というわけではない。固いものを噛んで破折したり、摩擦から歯髄炎や歯根膿瘍を起すことも。高齢動物が多い同館では、重度の歯周病になる場合もある。

「膿瘍までいくと基本は抜歯です」。年間数件程度抜歯に至るケースがあると伊東さんは話す。動物への処置は、全身麻酔下で行われる。麻酔は動物への負担が大きいく、術中死するリスクもある。一度の処置で終わらせるために抜歯が現実的な治療となる。

抜歯には、動物用の超音波振振切削機を用いる。加工したシリコンを上下の歯の間に挟み、開口器代わりに使用する。また、麻酔下では、目が開きっぱなしなので、抗生剤入りの眼軟膏を投与する。抜歯などの処置は、大型の動物は現場で、小型の動物は獣医室で行っている。

離島医療

「離島医療と似ています」。水族館での獣医療について聞くと伊東さんはこう答えた。

水族館では、限られた人員のなかで、哺乳類から魚類まで診療科目を問わず治療にあたらなければならない。その上、水族館にいる生き物たちは圧倒的に症例が少なく、マニュアルもない。使用する医療器具も、基本的には動物専門のものではなく、レントゲン、エコー、内視鏡などをすべて人間のもので転用している。特別に必要な道具があれば、材料を特注し、自作する。

「常に手探りのチャレンジ。これが獣医療の難しさであり、やりがいだと伊東さんは話す。歯科や眼科は専門性が高いため、外部から専門的に研究している獣医師を呼び、学ぶことも多い。日々研さんを欠かさない。

最後に伊東さんは少しはにかみながら、仕事に対する想いを語ってくれた。海遊館では、より自然な姿で生き物たちを観察していただきたくてと考えています。展示を通して生き物の素晴らしさを伝えることが私たちの役割です」。



潜入 海遊館

海獣の健康 どう守る？

口腔保健と治療について聞いた

猛暑日が続くなか、涼しく遊べる水族館は大人にも子どもにも人気のスポットだ。水族館のアイドルといえば、イルカ、アシカなどの海獣たち。水族館の海獣たちの健康はどのように管理されているのか。歯科疾患に罹患したり、歯が欠損した場合はどのように治療しているのか。日本を代表する水族館・海遊館に聞いた。

ハズバンダリートレーニングとは？

動物たちが手の合図で特定の姿勢を維持し、治療や健診をスムーズに受けてもらうための訓練だよ。



海遊館 見聞録

飼育員と動物の信頼関係



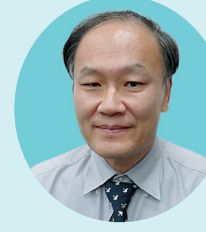
矢部 あづさ

久しぶりの海遊館。改めて大きな建物だと感じしました。建物は8階建てで、エレベーターは、海獣たちを移動させるため丈夫で大きなつくりになっていました。

海遊館では、早期発見・早期治療を心がけ、獣医師、飼育員をはじめとするチーム全体で海獣の健康管理に取り組んでいます。予防医療に重点を置いており、コツメカワウソなどは定期的に歯石除去もしているそうです。

なかでも驚いたのはハズバンダリートレーニングです。健康診断を行うにあたり、手でサインを出すと海獣が自ら口腔内を見せたり、採血しやすい姿勢を取ったりします。治療する上で患者との信頼関係が不可欠であるのと同様に、トレーニングも動物との信頼関係が大切だ。飼育員への厚い信頼の賜物なのでしょう。海遊館には、「飼育している生き物を守る」という意識が全館に浸透しているように感じました。

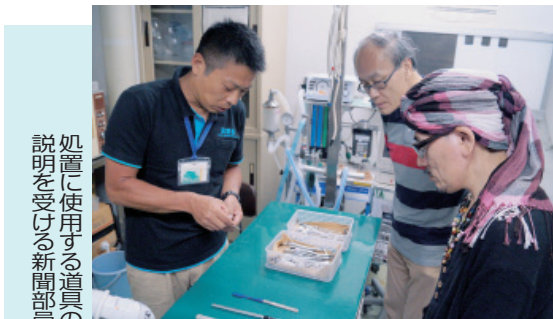
動物たちと真摯に向き合う



谷 聡

「海獣に歯科治療？なんだそりゃ」ということで、お話を伺うべく海遊館を訪れました。残念ながら日程が合わず、治療の様子を見学することではできませんでしたが、処置や検査などを行う獣医室に入らせていただきました。獣医室には、レントゲン、エコー、生体情報モニターがあり、スクリーニングや抜歯を含めた処置を行っているそうです。

取材を通じて、真摯に海獣たちと向き合う伊東獣医師や飼育担当の方々の努力と苦労が垣間見え、動物に関する広範な知識と柔軟に対応する力が求められます。特に海獣への治療は症例が少なくガイドラインも確立していません。獣医師だけでなく、日ごろから海獣らの健康管理を担当する飼育員との連携が海遊館を支えていると感じました。日本を代表する水族館として、海遊館の皆様のごからの活躍を期待します。



処置に使用する道具の説明を受ける新聞部員

第41回 保険医まつり

41年目の新発見！— 41th memorial event —
10月27日(土) 12:00~19:00 28日(日) 10:00~17:00
マイドームおおさか (大阪市中央区本町橋2-5)

大阪府保険医協同組合、秋の一大イベント「保険医まつり」を今年も開催します。2018年10月27日(土)、28日(日)の2日はマイドームおおさかへお越しください！現在、多彩なイベントを企画中！詳細はチラシなどで随時発表していきます。ご期待ください！

参加無料
保険医協会会員、ご家族、スタッフ、2日間とも参加OK！

各種医療機器・器材展示 & 特売会

CAR Festa
好評につきスペシャルカーフェスタを今年も開催！

駅弁、空弁販売します！

お酒コーナー
・ワイン試飲販売会
・利き酒コーナー など

すまいん
住まいと医院の相談会開催！

各種セミナー・お楽しみ大抽選会
他にも楽しい企画もりだくさん！ゲストも来るよ

お問い合わせ
大阪府保険医協同組合
TEL 06-6568-2741
FAX 0120-02-9381

※イベント・展示などは検討のため変更される場合があります。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0504

社保講習会

- 第1回 9月8日(土) 午後6時~8時
内容【初・再診料、医学管理、訪問診療】
- 第2回 10月20日(土) 午後6時~8時
内容【検査・画像診断・投薬、処置、歯周疾患】
- 第3回 11月17日(土) 午後6時~8時
内容【手術、歯冠修復ブリッジ、有床義歯】
- 会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
- 定員 100人
- 講師 社保研究部講師団
- ※「歯科保険診療の研究」(2018年4月版)をテキストとして提供します。ご持参ください。
- 会費 会員無料

大阪東部地区
こんなときどうする？ 偶発症への緊急対応

- 日時 9月9日(日) 午前10時~午後1時
- 会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
- 講師 佐々木昇氏(尼崎中央病院歯科口腔外科部長)
- 会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円
- 定員 100人
- 内容 ①高齢者の心身の特性(認知症に関する内容を含む)、口腔機能の管理、緊急時の対応
②歯科疾患の重症化予防に資する継続的管理(口腔機能管理を含む)

※「か強診の施設基準に定める要件の一部」とは、か強診の施設基準に規定する要件のうち歯科疾患の重症化予防に資する継続管理に関する研修(口腔機能の管理を含む)、高齢者の心身の特性および緊急時対応等に関する研修【必須要件】。同要件のうち在宅医療又は介護に関する研修、同要件のうち認知症に関する研修【選択要件】をいう。

※加強診の施設基準の届出には、本研修に加えて外来環境の施設基準に係る研修の受講が必要である。

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です。
※協会行事は本会を通じて報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、これをご理解の上、ご承知ください。また、講習会のビデオ撮影・録音はお断りします。